

2018年3月末DB基金の財政決算結果について

当社総幹事DB基金（2017年度：56基金、2016年度：49基金）における財政決算結果（2018年3月末計算基準日）の時価ベース利回り、積立水準等についての集計結果を以下のとおりご案内いたします。（規約型につきましては、別途ご案内いたします。）

* 本資料では、「確定給付企業年金」を「DB」と表記します。

【内容】

- I. 時価ベース利回りについて
- II. 継続基準の予定利率について
- III. 時価ベース利回りと継続基準の予定利率について
- IV. 継続基準の積立水準について
- V. 許容繰越不足金の算定方法について
- VI. 非継続基準の予定利率について
- VII. 非継続基準の積立水準について
- VIII. 成熟度に関する指標（掛金に対する給付の割合）について

年金NEWSに関する照会先

TEL : 03-5533-5572

[受付時間：月～金曜日 9:00～17:00（祝日、12/31～1/3を除く。）]

E-mail : kikinmadoguti@nissay.co.jp

本資料は、作成時点における信頼できる情報にもとづいて作成されたものですが、その情報の確実性を保証するものではありません。
本資料に含まれる会計・税務・法律等の取扱いについては、公認会計士・税理士・弁護士等にご確認のうえ、貴団体自らが判断ください。

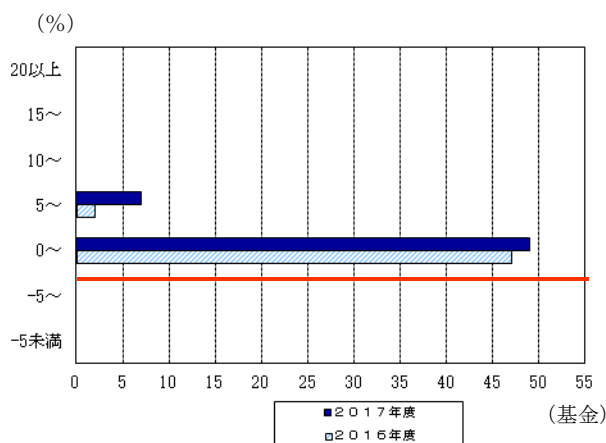
ホームページアドレス <http://www.nenkin.nissay.co.jp/info/report.htm>

◇2018. 7. 12 日本生命保険相互会社 団体年金コンサルティングG 発行(日本-年基-201807-170-0246-D)

I. 時価ベース利回りについて

- 2017年度の時価ベース利回りの平均は、3.04%です。(2016年度は、2.53%)
- 2017年度は、56基金全ての利回りがプラスとなっています。(2016年度は、49基金全ての利回りがプラス)

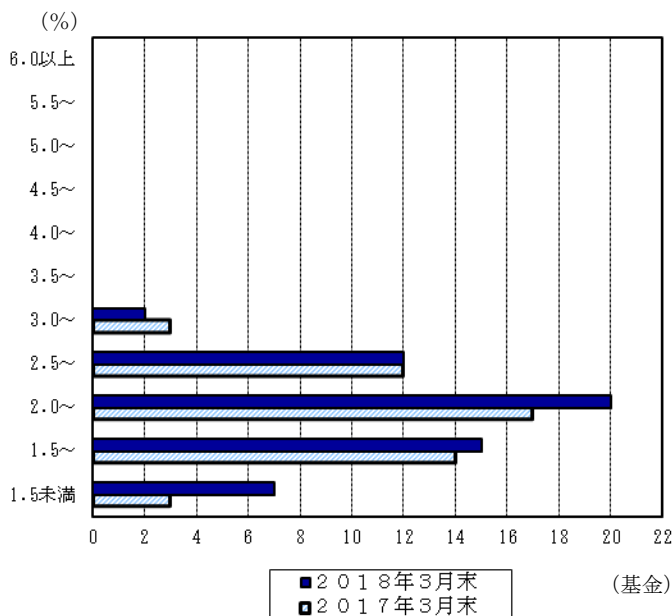
時価ベース利回り	3月末計算基準日の基金数	
	2017年度	2016年度
20%以上	0	0
15%以上～20%未満	0	0
10%以上～15%未満	0	0
5%以上～10%未満	7	2
0%以上～5%未満	49	47
-5%以上～0%未満	0	0
-5%未満	0	0
時価ベース利回りの平均	3.04%	2.53%



II. 継続基準の予定利率について

- 2018年3月末の継続基準の予定利率の平均は、1.92%です。(2017年3月末は、2.00%)

予定利率	3月末計算基準日の基金数	
	2018年3月末	2017年3月末
6.0%以上	0	0
5.5%以上～6.0%未満	0	0
5.0%以上～5.5%未満	0	0
4.5%以上～5.0%未満	0	0
4.0%以上～4.5%未満	0	0
3.5%以上～4.0%未満	0	0
3.0%以上～3.5%未満	2	3
2.5%以上～3.0%未満	12	12
2.0%以上～2.5%未満	20	17
1.5%以上～2.0%未満	15	14
1.5%未満	7	3
予定利率の平均	1.92%	2.00%



Ⅲ. 時価ベース利回りと継続基準の予定利率について

○ 2018年3月末で時価ベース利回りが継続基準の予定利率を下回る基金数は、56基金中15基金（26.8%）です。（2017年3月末は、49基金中21基金（42.9%））

時価ベース利回り<予定利率
(15基金)

〔上：基金数
下：占率〕

		時価ベース利回り(%)														計
		0.0未満	0.0以上 0.5未満	0.5以上 1.0未満	1.0以上 1.5未満	1.5以上 2.0未満	2.0以上 2.5未満	2.5以上 3.0未満	3.0以上 3.5未満	3.5以上 4.0未満	4.0以上 4.5未満	4.5以上 5.0未満	5.0以上 5.5未満	5.5以上 6.0未満	6.0以上	
予定利率(%)	5.5以上 6.0未満															
	5.0以上 5.5未満															
	4.5以上 5.0未満															
	4.0以上 4.5未満															
	3.5以上 4.0未満															
	3.0以上 3.5未満						1 (1.8%)						1 (1.8%)			2 (3.6%)
	2.5以上 3.0未満			1 (1.8%)	1 (1.8%)	1 (1.8%)		2 (3.6%)				3 (5.4%)	2 (3.6%)	1 (1.8%)	1 (1.8%)	12 (21.4%)
	2.0以上 2.5未満		2 (3.6%)	2 (3.6%)			4 (7.1%)	5 (8.9%)	3 (5.4%)	2 (3.6%)	2 (3.6%)					20 (35.7%)
	1.5以上 2.0未満		1 (1.8%)	2 (3.6%)	2 (3.6%)		3 (5.4%)	3 (5.4%)	1 (1.8%)		1 (1.8%)			1 (1.8%)	1 (1.8%)	15 (26.8%)
	1.5未満		1 (1.8%)	4 (7.1%)	1 (1.8%)		1 (1.8%)									7 (12.5%)
	計			4 (7.1%)	9 (16.1%)	4 (7.1%)	1 (1.8%)	9 (16.1%)	10 (17.9%)	4 (7.1%)	2 (3.6%)	6 (10.7%)	3 (5.4%)	2 (3.6%)	2 (3.6%)	56 (100%)

※占率は2018年3月末の56基金に対する率としています。

時価ベース利回り≥予定利率
(41基金)

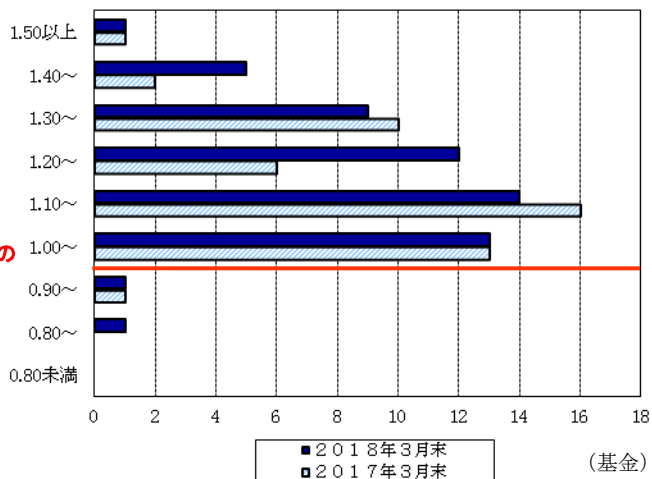
IV. 継続基準の積立水準について

【継続基準の積立水準=純資産額÷責任準備金】

- 2018年3月末の継続基準の積立水準の平均は、1.20です。(2017年3月末は、1.19)
- 2018年3月末の継続基準の判定基準に抵触(純資産額<責任準備金)している基金数は、56基金中2基金(3.6%)です。(2017年3月末は、49基金中1基金(2.0%))

積立水準	3月末計算基準日の基金数	
	2018年3月末	2017年3月末
1.50以上	1	1
1.40以上～1.50未満	5	2
1.30以上～1.40未満	9	10
1.20以上～1.30未満	12	6
1.10以上～1.20未満	14	16
1.00以上～1.10未満	13	13
0.90以上～1.00未満	1	1
0.80以上～0.90未満	1	0
0.80未満	0	0
積立水準の平均	1.20	1.19

継続基準の判定基準



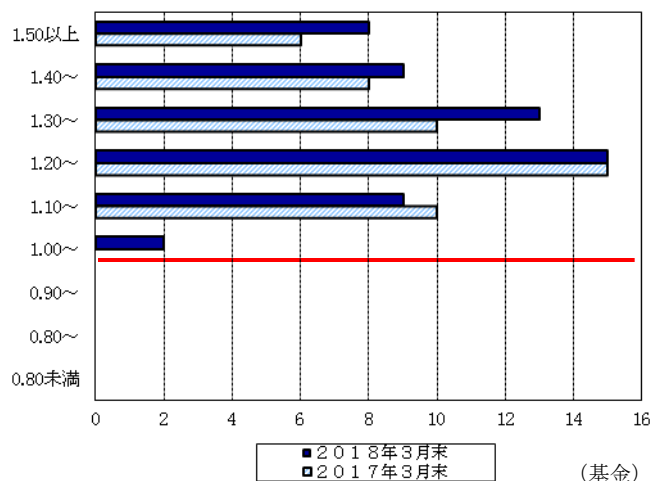
【財政再計算要否判定の積立水準=(数理上資産額※+許容繰越不足金)÷責任準備金】

- 2018年3月末の財政再計算要否判定の積立水準の平均は、1.34です。(2017年3月末は、1.43)
- 2018年3月末の財政再計算要否判定に抵触(数理上資産額※+許容繰越不足金<責任準備金)している基金は、56基金中0基金です。(2017年3月末は、49基金中0基金)

※数理上資産額=純資産額+資産評価調整加算額-資産評価調整控除額
(当社総幹事のDB基金では全件、時価評価しているため、純資産額と同額。)

積立水準	3月末計算基準日の基金数	
	2018年3月末	2017年3月末
1.50以上	8	6
1.40以上～1.50未満	9	8
1.30以上～1.40未満	13	10
1.20以上～1.30未満	15	15
1.10以上～1.20未満	9	10
1.00以上～1.10未満	2	0
0.90以上～1.00未満	0	0
0.80以上～0.90未満	0	0
0.80未満	0	0
積立水準の平均	1.34	1.43

継続基準の財政再計算の要否判定基準



V. 許容繰越不足金の算定方法について

○2018年3月末は、56基金中47基金（83.9%）が「標準掛金収入現価に一定率を乗じる方法」を使用しています。（2017年3月末は、49基金中41基金（83.7%）が使用）

算定方法	3月末計算基準日の基金数	
	2018年3月末	2017年3月末
A:標準掛金収入現価に一定率を乗じる方法	47	41
B:責任準備金に一定率を乗じる方法	9	8
C:「A」または「B」のいずれか低い額とする方法	0	0

VI. 非継続基準の予定利率について

○2018年3月末は、56基金中41基金（73.2%）が国の告示どおり1.460%を使用しており、15基金（26.8%）は1.2を乗じた上限値1.752%を使用しています。（2017年3月末は、49基金中37基金（75.5%）が国の告示どおり1.760%を使用）

2018年3月末		2017年3月末	
予定利率(%)	3月末計算基準日の基金数	予定利率(%)	3月末計算基準日の基金数
1.752	15	2.112	12
1.460 (告示どおり)	41	1.760 (告示どおり)	37

VII. 非継続基準の積立水準について

【非継続基準の積立水準=純資産額÷最低積立基準額】

○2018年3月末の非継続基準の積立水準の平均は、1.31です。（2017年3月末は、1.34）

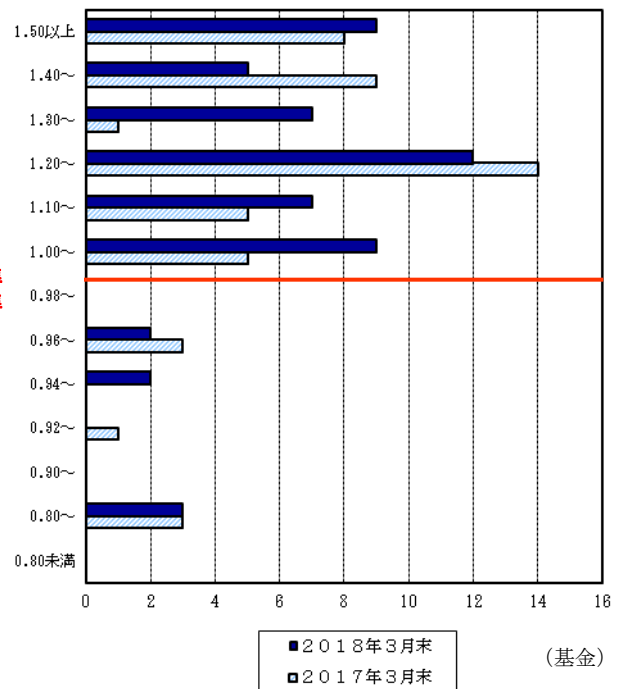
○2018年3月末の非継続基準に抵触している基金数は、56基金中6基金^{*1}（10.7%）です。
（2017年3月末は、49基金中5基金^{*2}（10.2%）が抵触）

※1 積立水準が1.00を下回る7基金のうち、積立水準が0.90以上でかつ過去3年間において2年以上基準を満たしている1基金を除く6基金。

※2 積立水準が1.00を下回る7基金のうち、積立水準が0.90以上でかつ過去3年間において2年以上基準を満たしている2基金を除く5基金。

積立水準	3月末計算基準日の基金数		
	2018年3月末	2017年3月末	
1.50以上	9	8	
1.40以上～1.50未満	5	9	
1.30以上～1.40未満	7	1	
1.20以上～1.30未満	12	14	
1.10以上～1.20未満	7	5	
1.00以上～1.10未満	9	5	
0.90以上～1.00未満	0.98以上～1.00未満	0	0
	0.96以上～0.98未満	2	3
	0.94以上～0.96未満	2	0
	0.92以上～0.94未満	0	1
	0.90以上～0.92未満	0	0
0.80以上～0.90未満	3	3	
0.80未満	0	0	

非継続基準
の判定基準



積立水準の平均 1.31 1.34

(基金)

VIII. 成熟度に関する指標（掛金に対する給付の割合）について

【掛金に対する給付の割合=給付額※1÷掛金額※2】

- 2017年度の掛金に対する給付の割合の平均は、115.6%です。（2016年度は、119.3%）
- 2017年度の給付額が掛金額を上回っている基金数は、56基金中25基金（44.6%）です。（2016年度は、49基金中25基金（51.0%））

※1 給付額＝一時金給付額＋年金給付額（発生ベース）

※2 掛金額＝標準掛金＋特別掛金＋特例掛金（発生ベース）

掛金に対する給付の割合	3月末計算基準日の基金数	
	2017年度	2016年度
225%以上	6	3
200%以上～225%未満	4	3
175%以上～200%未満	4	1
150%以上～175%未満	3	7
125%以上～150%未満	3	5
100%以上～125%未満	5	6
75%以上～100%未満	10	11
50%以上～75%未満	8	4
25%以上～50%未満	7	6
25%未満	6	3

掛金に対する給付の割合の平均	115.6%	119.3%
----------------	--------	--------

